

しるくのふくし

NO. 103

JUL 2026

「しるくあなたのふくし」リニューアル
地域と社協をつなぎます

知っている人は知っている。
でも知らない人は知らない——。
社会福祉協議会（社協）を1年
かけて深掘りします。

社協ってなんだ？

topic 01

15年の積みかさねとともに
**第4次地域福祉
推進計画が完成！**

topic 02

市民365人の熱い議論
**住民福祉
こんだん会の解説**



あなたと社協、
どんな関係？

高島市のみなさん



- 地域の福祉活動のサポート
- 地域福祉を推進する事業の企画、実施
- 会費を財源にした助成等を行う

- 地域福祉への参加
- 会員による社協の組織化、理事会と評議員会を構成

- 地域の声を社協の経営や計画、事業の企画に反映させる

社協事務局

社協を支える
みなさん

(社協会員・構成団体)

Close up

社協って なんだ？

社会福祉協議会、略して“社協”。名前は知っているけれど、どんな団体なのか、何をしているのかは、意外と知られていません。今号は、誌面のリニューアルを機に、実はみなさんの暮らしのすぐそばにある高島市社協を深掘りします。



● 心だんのくらしのしあわせを
みなさんと目指す団体

高島市に暮らす私たちが、毎日安心して過ごしていける。そんな当たり前の、みなさんの「心だんのくらしのしあわせ」あわせを、この高島市で実現するにはどうすればいいでしょうか。

毎日の暮らしの中には、ルール(制度)だけでは解決できないことがたくさんあります。自分たちが暮らす地域を、自分たちで良くしていきたい。「心だんのくらしのしあわせ」を実現したいとの思いを持ったみなさんが集まり、参加することで成り立っている団体が「高島市社会福祉協議会」です。

社協は社会福祉法第109条に定められた、地域の福祉を推進する中心的な団体ですが、市役所の一部ではない民間団体です。広くみなさんの参加と協力を得て活動することが大きな特徴で、社協の高い公共性と自主性の原動力となります。

みなさんの参加と声が、
地域を変える

社協だからこそ、地域のリアルな声にどこよりも早く、柔軟に耳を傾けることができます。そのリアルな声が、今、地域で何に取り組むべきなのかを明らかにし、社協の経営や事業に反映され、みなさんの地域にかえっていきます。

みなさんのひとりひとりの参加と声が、この循環を進める大きな力です。地域での「心だんのくらしのしあわせ」の主演は、高島市に暮らすみなさんなのです。

みなさんの声が集まった
行動計画が完成！



詳細は次のページへ

「あたたかなつながりを実感できる、みんなが主役のまちづくり」。2010年の当時、第1次高島市地域福祉推進計画で思い描いたビジョンは、15年間受け継がれ、高島市が目指す地域の福祉の姿を今も示し続けています。このビジョンを具体的なものにしていくには、長期間の計画的な取り組みが必要でした。地域福祉推進計画は、地域の福祉を計画的に進めるために、民間の立場から、地域に暮らすみなさんや福祉事業所、社協などが参加する行動計画です。平成から令和へ、草が根を張るように一步一步、みなさんとともに歩みを進めてきました。

この間、区・自治会における見守りネットワーク活動が広がり、福祉の専門職の連携が進み、住民のみなさんと福祉の専門職が協働する場が生まれました。この支えあいの広がりが、高島市の取り組みの特徴です。

時代や生活スタイルが変わっても、人と人との支えあいと、支えあいで生まれる絆の価値は変わりません。新しく始まるこれからの5年間、あなたもこの計画に参加してみませんか。

変わる時代、 変わらない絆

「あたたかなつながりを実感できる、みんなが主役のまちづくり」。2010年の当時、第1次高島市地域福祉推進計画で思い描いたビジョンは、15年間受け継がれ、高島市が目指す地域の福祉の姿を今も示し続けています。

地域とともに— 15年のあゆみ

第4次高島市地域福祉推進計画が完成！

ひとりの暮らしの問題を、みんなの問題へ。
その広がりは、地域のみなさんとともに進めてきたものでした。

2031年以降は、第5次地域福祉推進計画へと続きます。次の計画づくりは、もう始まっているのです。



第2次地域福祉推進計画

2015 ~ 2019

「あたたかい、我が家のようなまちへ」をテーマに、これからの10年後を見すえた第2次計画。あらゆる世代で孤立や孤独が問題となる中、住みなれた地域で自分らしく暮らせる「地域共同ケア」や総合的な相談体制の整備を進めた。



第4次地域福祉推進計画

2026 ~ 2030



第3次地域福祉推進計画

2021 ~ 2025

10年間の積みかさねの真価が問われた第3次計画。コロナ禍を経て完成が1年ずれ込んだものの、「参加」をキーワードに住民、関係者、専門職が協働することで、区・自治会から市全体までを支える福祉のまちづくりを推進した。



第1次地域福祉推進計画

2010 ~ 2014

合併後の地域福祉の理念とかたちを示した第1次計画。区・自治会の福祉推進委員会の活動支援や、旧町村ごとの住民福祉協議会の組織化支援を通じて、今日まで続く住民主体の福祉のまちづくりの基礎を固めた。

推進目標 5

取り組むこと

住民ニーズに寄り添ったケアの充実

1. 福祉事業所と地域の関係づくりとニーズに寄り添った取り組みの推進

推進目標 4

取り組むこと

誰もが安心して暮らしていくことができる総合相談支援体制と専門職連携の強化

1. 総合相談支援体制の強化と専門職連携の強化
2. 関係機関の協働による取り組みの推進

推進目標 3

取り組むこと

市域における住民主体の多様な活動づくりと多様な主体の地域福祉への参加の促進

1. ボランティア・福祉学習センターの機能強化
2. 多様な住民の参加の促進
3. 多様な主体の参加の促進
4. 災害支援体制の強化

推進目標 2

取り組むこと

中学校圏域(6地域)における住民主体の多様なつながりづくり

1. 住民福祉協議会の活動支援

推進目標 1

取り組むこと

小地域(区・自治会)におけるあたたかなつながりのある地域づくり

1. 見守りネットワーク活動やつどいの場づくりの普及や活動の発展
2. 自治基盤が弱まりつつある地域の支援



5つの推進目標

高島市の地域福祉を推進するためには、住民主体の取り組みと、専門職同士との連携のもと、両者の協働が欠かせません。さらに、第4次地域福祉推進計画では企業や団体、大学などの多様な主体の参加を促進していきます。

▼ 計画の全文はこちら





「地域の集まり(サロン)を始めてみたい」
「なにかボランティアをしてみたい」
「地域に“ちょっと気になること”がある」



あなたの地域の生活支援コーディネーター
私たちにご相談ください



朽木担当

みやた さなえ
宮田 早苗



高島担当

はしづめ かつよ
橋詰 勝代



安曇川担当

まえがわ あやこ
前川 彩子



新旭担当

しばやま たいち
芝山 太智



今津担当

ふるたに さよこ
古谷 佐代子



マキノ担当

しらすき よしろう
白崎 善郎

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）は、高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らしていけるよう、人と人をつ

なぎ、地域みなさんと一緒に「おたがいに支えあえるしくみや居場所」を作っていきます。お気軽にご相談ください！

毎月第3火曜日の13時～15時は



「初めて来たのに、なんか落ち着くね」
ここは、みんなが“そのまま”でいられる場所

年齢も、立場も、得意なことも違う人たちがふらっと立ち寄り、同じテーブルを囲んでお茶を飲む。そこには特別なルールはありません。健康麻雀で盛り上がる人もいれば、

読書や編み物をしながら静かに過ごす人も。誰かの“できること”が、自然と誰かの「助かったよ」につながっていく。そんなあたたかい時間が、ごちゃまぜカフェに流れています。

※住所 勝野1452番地2（高島郵便局向かい）

問 高島住民福祉ネットワーク事務局 25-5730
（地域福祉課 担当：橋詰）

社協の事業計画と予算

— 方針 —

「あたたかなつながりを実感できる、みんなが主役のまちづくり」を地域ビジョンとする「第4次高島市地域福祉推進計画」の初年度として、令和8年度は新たなスタートを切ります。

また、安定した法人経営に直結する介護保険事業の経営をより安定させるため、利用状況に応じた効率化や集約化を進めるとともに、職員の処遇改善等に取り組みます。



住民福祉こんだん会



相談支援



介護サービス



こども食堂の活動支援



防災出前講座



住民福祉協議会の活動支援



renewal



事業計画と予算の詳細はホームページからご覧いただけます

4,355,000円
市内の福祉推進委員会の活動支援のために



- 地域のつどいの場や助けあいの活動づくり
- 研修会等の開催

2,995,000円
福祉の学び、法律相談などの取り組みのために



- 福祉学習
- 無料法律相談
- 住民福祉こんだん会
- ふくしの出前講座 等

社協会費の使いみち

令和8年度 予算 7,350,000円

VOICE

～ 参加者の声 ～



災害時に困ることは？

- 高齢者のみの世帯が増えていて、もしものときの安否確認や避難が不安。
- 区入りしない方が増えていて、災害時の助けあいのあり方をどう考えればよいか。



今、地域で取り組んでいることは？

- 顔の見える関係性を作るために、区の避難訓練には見守りの対象となっている方にも一緒に参加してもらっている。
- 区民名簿を毎年更新して、災害時に生かせるように備えている。



これから、地域でやってみたいことは？

- スマホやLINEなどのツールを、日頃の安否確認にも役立てたい。
- 区の清掃活動などもつながりづくりの一環ととらえて、顔だけでも見せてもらえるよう声をかけていきたい。



区長・自治会長

地域のリーダー



民生委員児童委員
主任児童委員

地域と子育ての
身近な相談・調整役



福祉推進委員長

地域の福祉活動の
まとめ役



住民のみなさんによる、住民の福祉のための話しあい

住民福祉 こんだん会 レポート

地域の福祉の主役は住民のみなさんです。自分たちの地域を、自分たちで良くしていくために、どう考え、何に取り組むのか一。
今年も地域のキーパーソン365人による白熱した議論が、各地で行われました。

地

域にはキーパーソンがいます。「区長・自治会長」、「民生委員児童委員・主任児童委員」、「福祉推進委員長」は「福祉の三役」と呼ばれ、みなさんの生活に最も近い区・自治会における福祉を推進する重要な担い手です。

住民福祉こんだん会は、毎年の春の恒例イベント。福祉の三役のみなさんにお集まりいただき、それぞれの地域での取り組みや悩みなどを持ち寄り、共有し、自分たちの地域を良くするために意見を交換する場です。

今年度も5月13日から27日まで市内17か所で開催し、のべ365人による白熱した議論が交わされました。

もしものために、いつもから

今年度は「災害に強い、つながりのある地域づくりと福祉活動」をテーマに、グループにわかれて意見交換。互いに日頃から地域を見て歩き、地域の実情を熟知しているキーパーソンだからこそ話せる、それぞれの区・自治会の現状や課題に話題が尽きません。熱気あふれる会場を、区・自治会は違っても、地域を思う気持ちは同じだという安心感が包んでいました。

阪神淡路大震災から31年、東日本大震災から15年、熊本地震から10年が経過しました。災害は「忘れた頃にやってくる」から、今は「忘れる前にやってくる」に変わり、いつ、どこで起きてもおかしくありません。社協が地域のみなさんとともに進めている、福祉推進委員会活動と見守りネットワーク活動は、「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせを災害時の安心につながる活動でもあります。日頃から住民同士がゆるやかに、それについて力強くつながり続けることが、いざというときの大きな力になるのです。



01

寄付金報告

令和8年1月～5月受付分
／敬称略

- 市内
- 鉄屋商事株式会社 …… 100,000円
 - 本庄仏教会 …………… 金一封

02

無料法律相談

弁護士による、問題解決に向けての助言です。同一事案での継続相談はできません。要予約、先着順で6人まで受け付けます。相談時間は30分です。

また、同一人物からの相談は、1年に1回までです。

とき 8月18日(火) 13時30分～16時30分
ところ ども若者応援ベース みらくる
(新旭町北畑45番地1)

予約受付日 8月4日(火) 8時30分～

申込先 ☎ 25-5720 (相談支援課)

※上記の電話番号以外での受け付けはできませんのでご了承ください。

03

 赤い羽根
たかしま見守り募金
令和7年度
実績額

▶ 2,132,459 円

「赤い羽根たかしま見守り募金」は、区・自治会で取り組む見守りネットワーク活動に助成しています。

募金いただいたみなさまや、募金箱の設置や募金百貨店プロジェクトの寄付付き商品などでご支援いただいた店舗・企業のみなさま、ご協力ありがとうございました。

04

社協会費のお願い

社協会費を活用して、地域のつながりづくりや豊かな人間関係をはぐむ活動などの、高島市の地域福祉の推進に取り組んでいます。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

※社協会費の主な使いみちは8ページへ。

05

なんでも相談会のご案内

相談
無料

福祉、高齢、障がい、ひきこもり、法律等のさまざまな分野の相談員が参加する相談会です。要予約、先着順で受け付けます。相談時間は1時間までです。

とき 7月24日(金) 13時30分～16時30分
ところ 高島公民館 (アイリッシュパーク)
(勝野670番地)

予約受付日 7月1日(水) 8時30分～

申込先 ☎ 25-5720 (相談支援課)

※上記の電話番号以外での受け付けはできませんのでご了承ください。

06

役員等の就退任のお知らせ

< 就任 >

- 理事 田谷 伸雄 氏 (3月25日付け)
大藤 耕平 氏 (4月1日付け)
- 評議員 上野 眞 氏 (4月1日付け)

< 退任 >

- 理事 大村 勇 氏 (3月31日付け)
- 評議員 小多 偕裕 氏 (3月31日付け)

07

ボランティア講座のご案内

参加無料

みなさんの日々の活動が楽しくなるヒントが見つかる！たくさんのご参加をお待ちしています。

とき 9月17日(木) 14時00分～16時00分
ところ 安曇川公民館 ふじのきホール
(安曇川町田中89番地)

内容 「明日だれかに教えたくなる！
地域福祉活動のコツ」

講師 田川 雅規 氏/
あそび工房もくもく屋

申込先 ☎ 25-5730
(地域福祉課)



◀ QRコードからも
お申込みいただけます。

